

## 平成28年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名：

「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）養成研修（後期）」兼「ボランティアステップアップ研修」

期間： 9月17日（土）～9月18日（日） （1泊2日）

対象及び参加人数： 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある者 20名（内10名は日帰り）

目的：

自然体験活動の指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）」（以下「NEALリーダー」と呼ぶ）を養成するための研修として実施する。

また、前期日程を受講した法人ボランティアに対し、対象者理解、自然体験活動の指導・技術、自然体験活動の特質等のNEALリーダーを認定するための専門的研修を行うことで、ボランティアのステップアップの機会とする。

事業概要：

自然体験活動指導者（NEALリーダー）の養成・普及を図る。

成果：

前期日程を受講した、法人ボランティアを中心に20名の参加であった。そのうち、14名がNEALリーダーとしての登録を希望し、認定試験を受験した。

研修内容としては、信州大学 瀧直也氏を講師に迎え、「対象者理解」及び「自然体験活動の指導・技術」の演習を実施した。研修は、大学生が多く参加したが、自然体験指導者としてどのような知識を有して、どのような振る舞いをすべきなのかを体験的に学ぶ事のできる内容であった。特に自然体験活動の技術では、テント設営の技術や、ロープワークの技術について実際に体験してみる形で行い、非常に充実した研修となった。

第2日目の「自然体験活動の特質」では、妙高青少年自然の家で指導者として活躍している、澤田賢一氏を講師に迎え、妙高戸隠連山国立公園に特化した研修を実施した。併せて妙高自然の家のフィールドを実際に活用し、植物や動物について、自然と触れながら研修を行った。



課題：

研修日程が、シルバーウィークにあたり様々なイベントと重複していたため、参加者の確保が厳しい状況であった。広報を戦略的に行うとともに、参加者を確保し易い日程を選択する等、見直す必要がある。

また、自然体験指導者の養成が目的であるが、前期日程に出でなくとも参加しやすいよう、主任講師を中心に単位履修状況の管理方法等を見直すことで、より多くの参加者がNEALリーダーの資格を取得できるように受け入れ体制を整備することも必要である。

同時に、養成後の活躍の機会を創出することも急務であると考えられるが、ボランティアコーディネーターを軸に、養成したリーダーにヒアリングを行うなどして、活躍の場の創出を図っていきたい。